

重点的に取り組んだ活動・内容

項 目	実 践 状 況
<p>1 実践1 【縦割り班活動】</p>	<p>1年から6年の異年齢の児童をグループに分け、5、6年生を中心にグループごとに異年齢で楽しめる遊びを計画して実施したり、協力して愛校作業で校内の落ち葉掃きや清掃を行ったりした。</p> <hr/> <p>成果 遊びを通して、上級生が下級生に心配りをし、下級生は上級生に親しみや憧れを感じている様子を見ることができた。普段の生活でも、廊下で声をかけ合い、休み時間に遊んだりする場面も見られた。</p> <hr/> <p>課題 子供たちの人権感覚を高めていくには、教職員の人権意識の高揚も不可欠である。校内研修などをさらに充実させて、継続的に人権感覚を養っていきたい。</p>
<p>2 実践2 【いいところ発見コーナーなどの掲示】</p>	<p>【いいところ発見コーナー】 ・友達のいいところを発見したり、友達の行為に対して感謝することがあったりするたびに、掲示をして児童のよさを積み重ねてきた。</p> <p>【道徳コーナー】 ・各教室に学習した単元をハートマークにして掲示して毎時間、増やしていった。</p> <hr/> <p>成果 ・友達のよさについて発見したり、自分のよさに気付いたりするよい機会になった。 ・道徳コーナーやいいところ発見コーナーを掲示したことで、興味をもって内容を見たり話したりすることで人権や道徳について自然と触れることができた。</p> <hr/> <p>課題 ・人権メッセージなどについては、友達や家族との関わりで感じる気持ちや、命の大切さ、自分らしさ等について学級の友達だけでなく、同学年、他学年の友達の作品から学び合えるような場の工夫をしていきたい。</p>